

各位

会社名 株式会社TSIホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 下地 毅  
 (東証プライム市場 コード番号 3608)  
 問合せ先 経営企画部 財務・広報 IR 課 長谷川 俊介  
 TEL 03(5785)6400

**2025年2月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は直近の業績動向を踏まえ、2025年4月12日に公表しました2025年2月期の第2四半期(累計)連結業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせします。

なお、通期の連結業績予想に変更はございません。

記

1. 2025年2月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正について  
 (2024年3月1日~2024年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	74,500	△900	△500	△900	△11.93円
今回予想(B)	75,200	△170	△75	△900	△12.14円
増減額(B-A)	700	730	425	0	
増減率(%)	0.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年2月期 第2四半期)	73,278	532	1,608	1,472	17.72円

2. 修正の理由について

売上高は3月の天候不順により苦戦したものの、4月以降の気温上昇に伴い復調基調にあったことに加え、海外からのインバウンド需要により、当初計画をやや上回りました。円安や原材料費の高騰、過年度在庫の消化促進により、売上総利益は計画を下回りましたが、構造改革の取り組みにより、広告宣伝費や物流費、本部費が抑制されたため、営業利益は当初計画に比べて7億30百万円の増加となる見込みです。

営業外損益では、受取配当金の減少や為替差損があるものの、経常利益は4億25百万円の増加となる見込みです。政策保有株式の売却による投資有価証券売却益を4億66百万円計上しましたが、過年度に積み増した繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額の増加により、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、計画並みの△9億円となる見込みです。

なお、構造改革の一環として取り組んでいる事業ポートフォリオの見直しに伴う事業撤退ならびに本社組織の効率化等による追加費用の影響を鑑みて、通期連結業績予想は据え置いております。構造改革に伴う連結業績に与える影響額については、確定次第速やかに公表いたします。

2025年2月期第2四半期(累計)決算の発表は、2024年10月11日(金)の予定です。

以上